

学校教育目標	「心豊かな人となれ」				
	(知)	◎自己を創る学びと喜びを大切に、可能性を切り拓く生徒を育てます			
	(徳)	◎喜びや悲しみを分かち合い、ともに支え合う生徒を育てます			
	(体)	◎自分らしさをいきいきと表現できる生徒を育てます ○身体と心を鍛え、前向きに生きる生徒を育てます			
(公・開)	◎人と自然、伝統と文化にふれて学ぶ生徒を育てます ○ルールやマナーを守り社会生活を営む生徒を育てます				

学校概要	創立 47 周年	学校長 中島 良一	副校長 佐久間 桂一	3 学期制	一般学級: 10	個別支援学級: 2
	児童生徒数: 302 人 主な関係校: 上川井小学校、川井小学校、都岡小学校					

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力>	都岡中学校 都岡小学校 川井小学校 上川井小学校	自主性を身につけ、互いの良さを認め合う心豊かな子ども ----- ・入心よりの理解の深化と、より丁寧な関わり ・「誰もが分かりやすい授業」を行うための手立ての共通理解と、その実践

中期取組目標	<p>○学校教育目標を実現するために、安全・安心、そして安定した学校作りを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重し生活の安定を支援する。 ・自己有用感が高まる教育活動を実践し、基礎学力の定着を図る。 ・個々の生徒の視点に寄り添った教育を推進する。 ・教職員一人ひとりの良さを生かし、教師力を高めて、組織として諸問題を解決していく。 ・様々な教育活動を通して、学校、家庭、地域が共に連携し、生徒一人ひとりの成長を支援する。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①ユニバーサルデザインの考え方のもとに、すべての生徒に寄り添ったわかりやすい授業を行う。 ②基礎学力の定着を前提に研究授業等を行い、互いの授業力を高める。
担当 学習指導部	
豊かな心	①学級活動：学級における集団活動を通してよりよい人間関係を築くための具体的な働きかけを行う。(子どもの社会的スキル横浜プログラムを中心として) ②専門・特別委員会：各委員会の活動や行事の運営を通し、生徒自らが各々の課題解決に努め、自主的に運営していく姿勢を育てる。
担当 特活指導部	
健やかな体	①保健委員会では、季節や行事に応じた「月別目標」を設定し、基本的な生活習慣を身に付け、生活と健康の関わりに気づき、自ら考えて実践できるようにしていく。学校保健委員会では、保護者・地域と連携し、「健康診断の結果」「食生活」「睡眠」「健康の在り方」等の話題を取り上げ、3年間を通じ健康の保持増進に努める。 ②新体力テストの結果を各自が考察し、「体力向上計画」を作成し、学校生活内外で実践する。
担当 保健指導部	
生徒指導	①研修会等を通して、生徒への見取りを共通に理解し、常に教職員間で連携しながらチーム力を高める。また、年3回の教育相談日を設けたり、日頃から声かけを行ったりするなど、生徒一人ひとりに寄り添って生徒指導に組織的に取り組む。 ②生活福祉委員会では、安心した学校生活を送れるようために、自ら課題解決方法を考え実践できるようにする。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	①ユニバーサルデザイン(UD)の研修を行い、教職員相互の授業力や創造力を高める。また、UDの視点から誰もが安心して生活できる教室環境の整備を行う。 ②特別支援的な支援が必要な生徒の課題解決のために、個の教育的ニーズに合った支援を行う。
担当 特別支援教育推進委員会	
学校運営協議会	①年4回、学校運営協議会を開催する。その際、授業参観や体育祭等の行事を協議会と並行して行い、授業や生徒の様子に直接触れながら検討できるように設定する。 ②学校の課題解決の助言や見守りを行えるよう、風通しのよい協議会をめざす。
担当 学校運営協議会	
地域連携事業	①学校便り「しろつめ草」広報誌「みやこが丘」の発行、公開授業、学校HP等を活用し、情報発信を積極的に行う。 ②「学校家庭地域連携事業実行委員会」「学校警察連絡協議会」及び福祉機関との協働をし、安全・安心な学校づくりを推進する。
担当 渉外部	
いじめへの対応	①個々の生徒が「学校に来ると楽しい」と感じられるよう、日常から信頼関係づくりを大切に。教育相談アンケート等を行い、いじめの未然防止に努める。 ②研修等を行い、いじめに対する感度を高く、迅速かつ的確に対応できるようにする。定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、経過を観察し再発防止に努める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①メンターチーム「クローバーアカデミー」を活用し、より多くの教育活動に生かすことで、職員間相互のコミュニケーションを深める。 ②オンザフライミーティングを活用し、情報の共有化を迅速かつ的確に行い、教職員相互の柔軟性と活性化を構築させる目的で行う。
担当 管理職	